

アラーム履歴表示画面（ヒストリ） 解説書

目次

項目名

1. 概要と操作説明
2. 画面の設定方法
3. 使用アドレスの説明
4. 使用 GP と PLC 及び作画ソフトバージョン
5. 画面のコピー方法
6. アドレスの一括変換方法
7. 使用上の注意点

1. 概要と操作説明

現在発生しているアラームを発報日時順に表示したり、過去に発生したアラーム履歴を表示します。ここではアラームの発報・確認・復旧時刻を同一行に表示します。運転状況を時系列で詳細に知ることができます。

アラーム履歴表示画面 06/10/06 (Fri) 10:52

| 日付 | 時間 | 異常内容 | 確認 | 復旧 |
|----------|-------|----------|----|----|
| 06/10/06 | 10:51 | 加湿器 空焚異常 | | |

異常発報 -> ■ 異常確認 -> ■ 異常復旧 -> ■

開始 上移動 下移動 確認 全確認 復旧アラームクリア 全復旧アラームクリア 終了



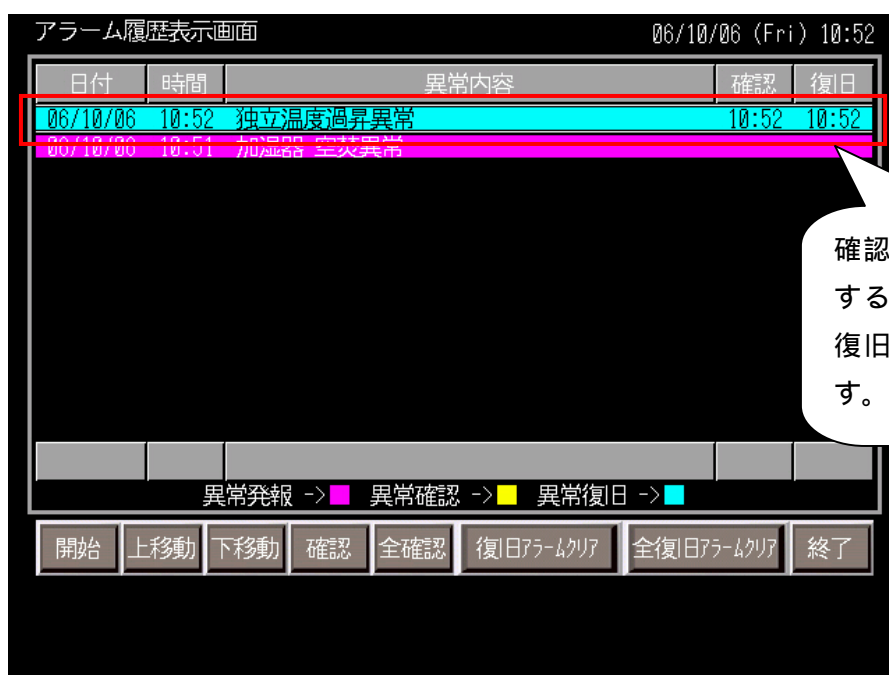
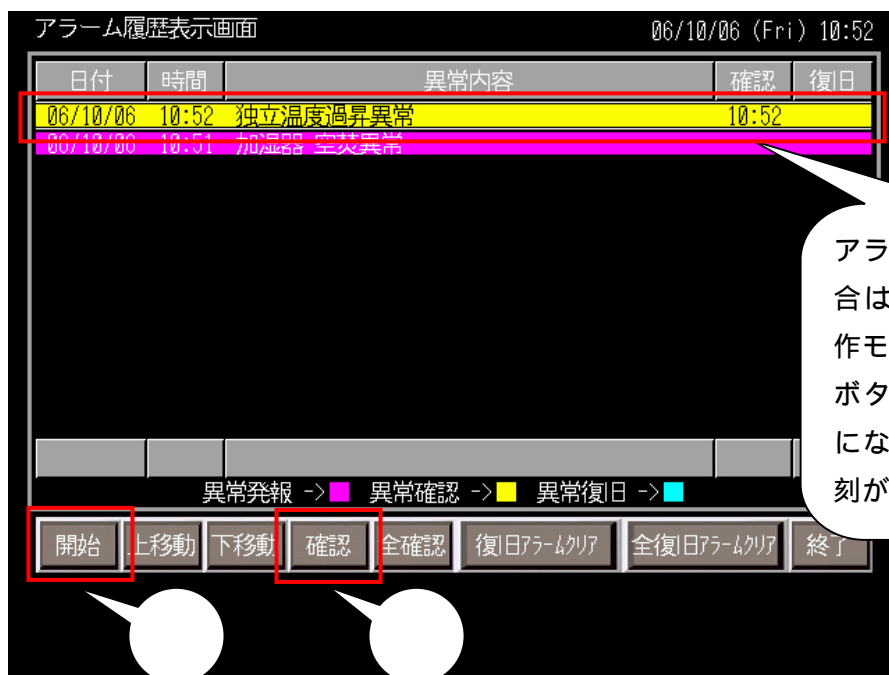
アラーム履歴表示画面 06/10/06 (Fri) 10:52

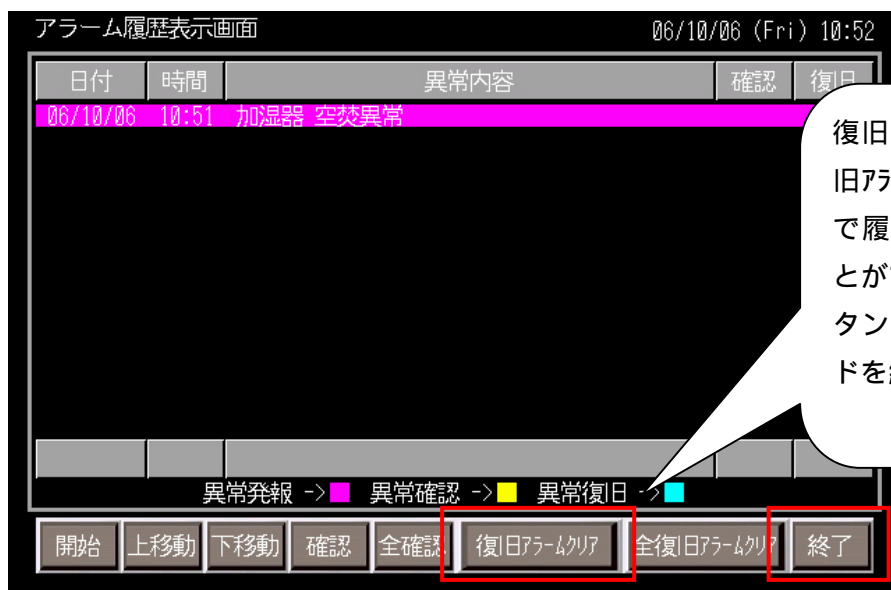
| 日付 | 時間 | 異常内容 | 確認 | 復旧 |
|----------|-------|----------|----|----|
| 06/10/06 | 10:52 | 独立温度過昇異常 | | |
| 06/10/06 | 10:51 | 加湿器 空焚異常 | | |

異常発報 -> ■ 異常確認 -> ■ 異常復旧 -> ■

開始 上移動 下移動 確認 全確認 復旧アラームクリア 全復旧アラームクリア 終了

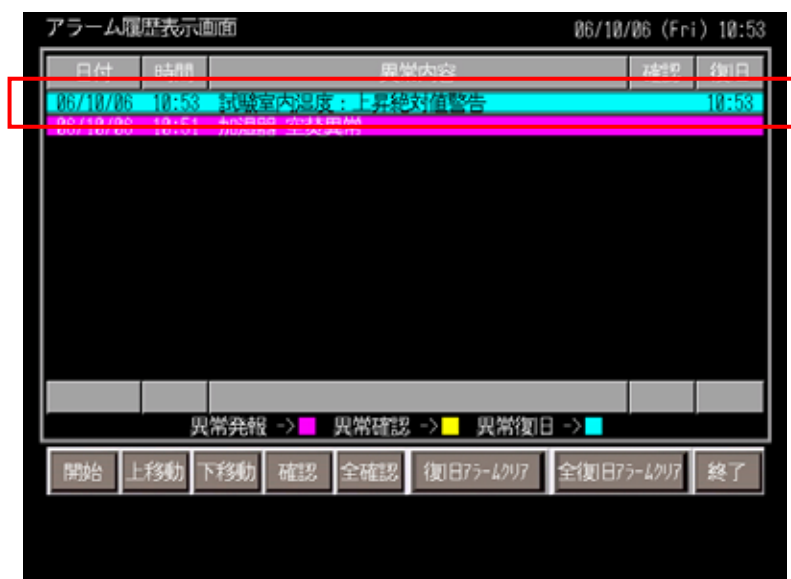
アラームは時系列で上から順番に表示されます。





Memo

- ・ 復旧時刻は確認の有無に関係なく、復旧した時点で書き込まれます。



その他のボタン

アラーム履歴表示画面 08/11/18 (Tue) 15:19

| 日付 | 時間 | 異常内容 | 確認 | 復日 |
|----------|-------|----------------|-------|----|
| 08/11/18 | 15:18 | 加湿器 フケール詰塞警告 | | |
| 08/11/18 | 15:18 | 加湿器 運転確認 | 15:18 | |
| 08/11/18 | 15:18 | 空調器 局部加熱 | 15:18 | |
| 08/11/18 | 15:14 | 加熱器 異常 | | |
| 08/11/18 | 15:14 | 試験室内湿度：上昇絶対値警告 | | |
| 08/11/18 | 15:14 | 独立温度過昇異常 | | |
| 08/11/18 | 15:14 | 冷凍機 凝縮ファン異常 | 15:18 | |
| 08/11/18 | 15:14 | 冷凍機 蒸発温度異常-1 | | |

異常発報 -> ■ 異常確認

開始 上移動 下移動 確認 全確認 復日7>

[上移動]、[下移動]
アラーム選択用のカーソルが上下に移動します。

アラーム履歴表示画面 08/11/18 (Tue) 15:33

| 日付 | 時間 | 異常内容 | 確認 | 復日 |
|----------|-------|----------------|-------|----|
| 08/11/18 | 15:33 | 加湿器 スケール蓄積警告 | 15:33 | |
| 08/11/18 | 15:33 | 加湿器 運転確認 | 15:33 | |
| 08/11/18 | 15:33 | 空調器 局部加熱 | 15:33 | |
| 08/11/18 | 15:33 | 加熱器 異常 | 15:33 | |
| 08/11/18 | 15:33 | 試験室内湿度：上昇絶対値警告 | 15:33 | |
| 08/11/18 | 15:33 | 独立温度過昇異常 | 15:33 | |
| 08/11/18 | 15:33 | 冷凍機 凝縮ファン異常 | 15:33 | |
| 08/11/18 | 15:33 | 冷凍機 蒸発温度異常-1 | 15:33 | |

異常発報 -> ■ 異常確認 -> ■

開始 上移動 下移動 確認 全確認 復日7>

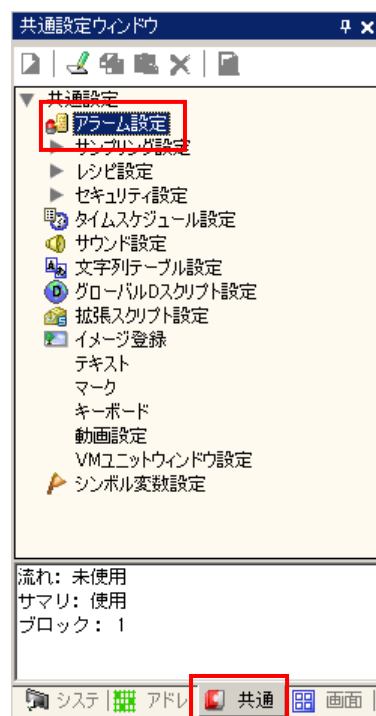
[全確認]
発報しているすべてのアラームが確認状態になります。



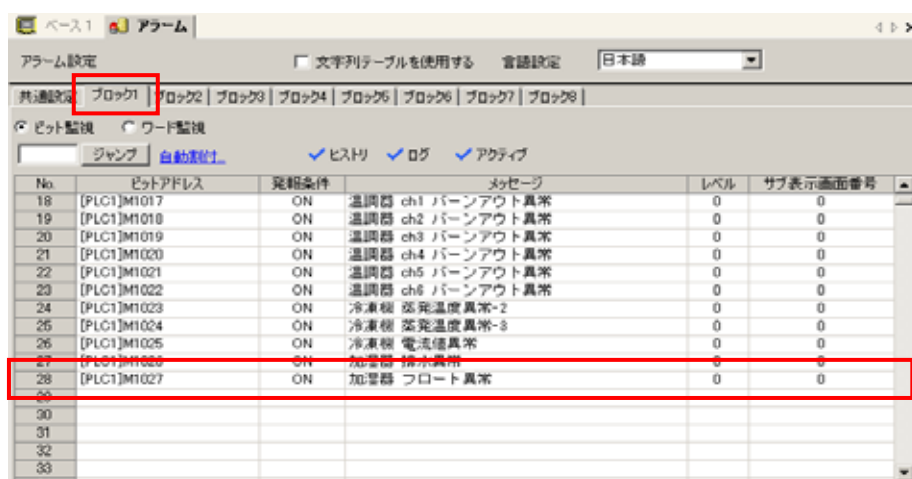
2. 画面の設定

アドレスの登録/編集をする方法

1. [共通設定]ウィンドウの[アラーム設定]をダブルクリックします。



2. [ブロック 1]タブを選択し、表示させたいメッセージと対応するビットアドレスを設定します。



アラーム部品の設定を変更する方法

1.アラーム部品の上でダブルクリックします。


[illegible]

2.[アラーム]ダイアログボックスが表示されますので必要な項目を変更します。以下に代表的な設定項目を紹介します。

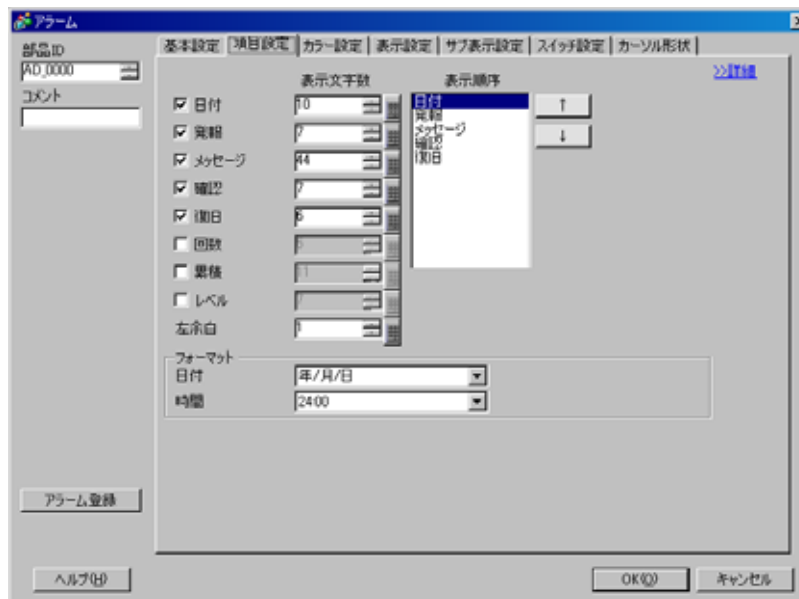
| |
|---|
| Memo |
| 各項目の詳細、その他の設定項目については GP-Pro EX リファレンスマニュアル「19 章 アラーム」を参照してください。 |

[基本設定]タブ



| | |
|-------|--|
| 表示開始行 | アラームメッセージを何行目から表示させるかを 1 ～ 768 で設定します。 |
| 表示行数 | 1 画面に何行のアラームメッセージを表示するかを 1 ～ 50 行で設定します。 |
| 表示行間 | 表示するアラームメッセージ同士の行間隔をドット数 0 ～ 7 で設定します。 <div style="text-align: center;"> A  A </div> 0～7ドットで設定 |

[項目設定]タブ

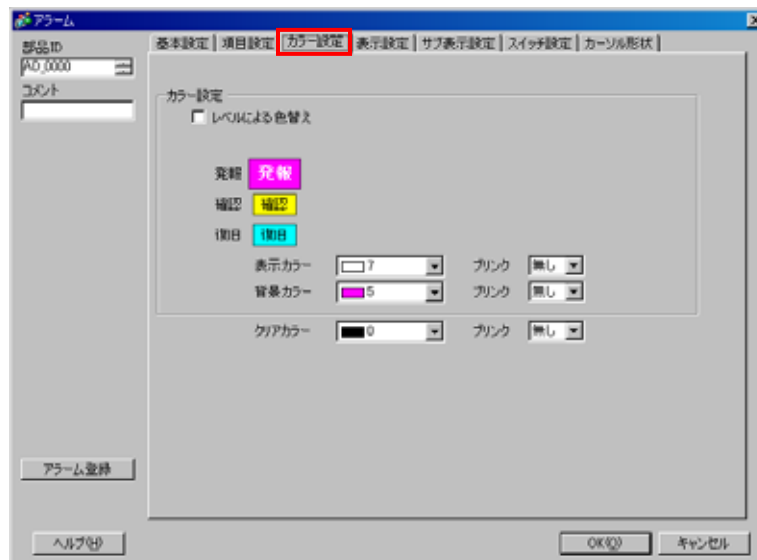


A : チェックボックスを ON した項目名のみアラーム部品で表示されます。

B:アラーム部品で表示する項目名の順番を入れ替えることができます。

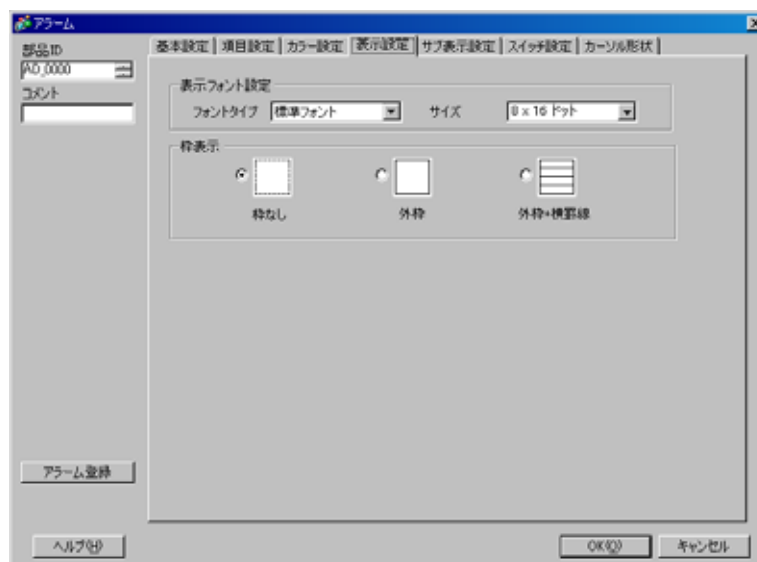
C:日付と時間のフォーマットを選択できます。

[カラー設定]タブ



アラームメッセージを[発報]、[確認]、[復旧]の状態によって色分けして表示できます。

[表示設定]タブ



フォントタイプやフォントサイズ、枠の設定などが設定できます。

[スイッチ設定]タブ



スイッチの種類や形状、銘板などを設定できます。

3. 使用アドレスの説明

本サンプルで使用しているアドレスは次のエリアになっています。

お客様のシステムに応じてこのアドレスを変更してください。

| 使用アドレス | | 内容 |
|---------|---------------|-------------|
| ビットアドレス | M1000 ~ M1027 | アラーム表示用アドレス |

4. 使用 GP と PLC 及び作画ソフトバージョン

本サンプルで使用している GP、PLC 及び作画ソフトのバージョンは下記の通りになります。お客様の使用される機種により、画面位置の設定や変更が必要になります。

使用GP及びPLC

GP : GP3500

PLC : 三菱電機 (株) 製 MELSEC Q02H (CPU 直結)
(使用プロトコル : Q シリーズ CPU 直結)

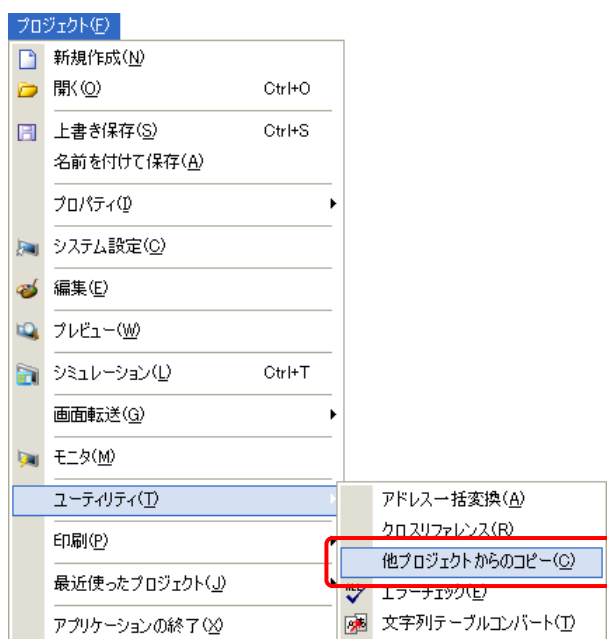
ソフトバージョン : GP-PRO EX V2.22 以上

5. 画面のコピー方法

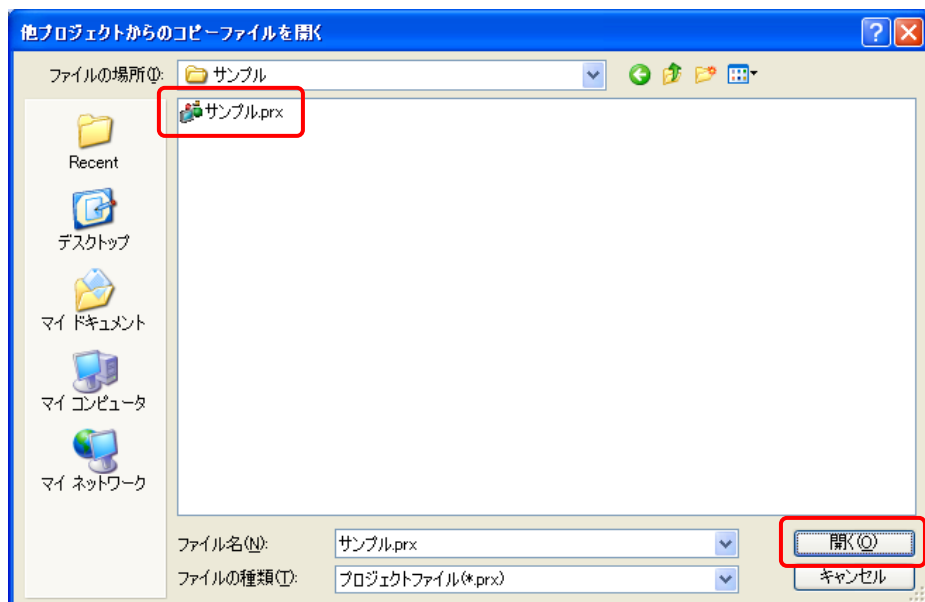
既にお客様で作成されているプロジェクトファイル（画面ファイル）に本サンプルをコピーし、取り込むことが可能です。この場合、使用アドレスや画面番号等が重複しないようご注意ください。

またご使用される機種により画面位置や設定の変更が必要になります。

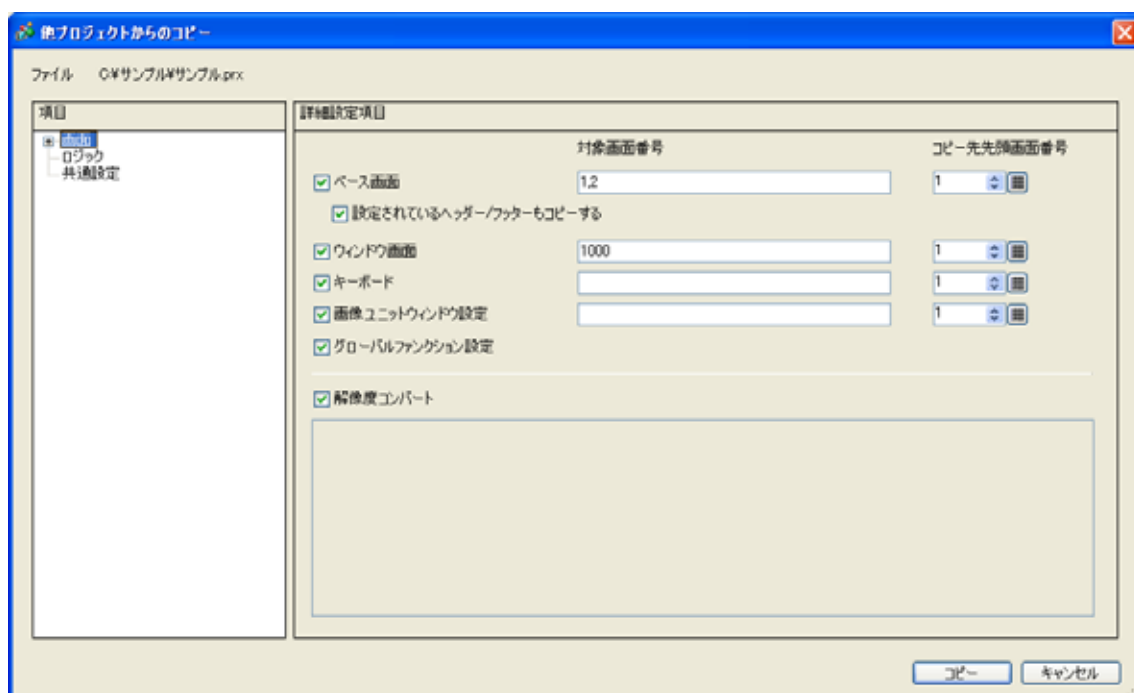
1. お客様のプロジェクトファイルを開きます。
2. [プロジェクト (F)] メニューから [ユーティリティ (T)] - [他プロジェクトからのコピー (C)] を選択します。



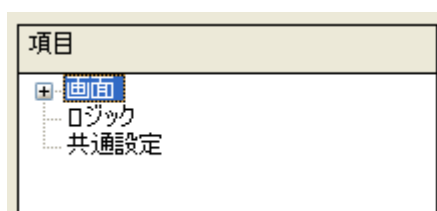
3. 次のダイアログボックスが表示されるので、[ファイルの場所 (I)]、[ファイル名 (N)] を指定し、[開く (O)] をクリックします。



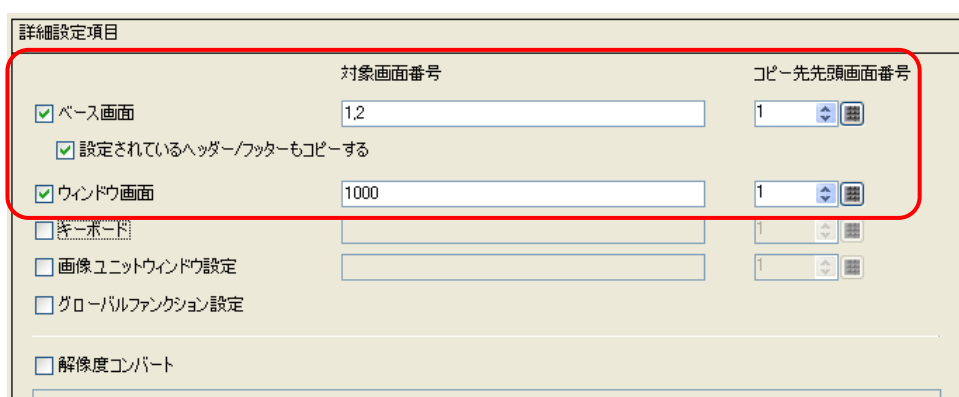
4. [他プロジェクトからのコピー] ダイアログボックスが表示されます。



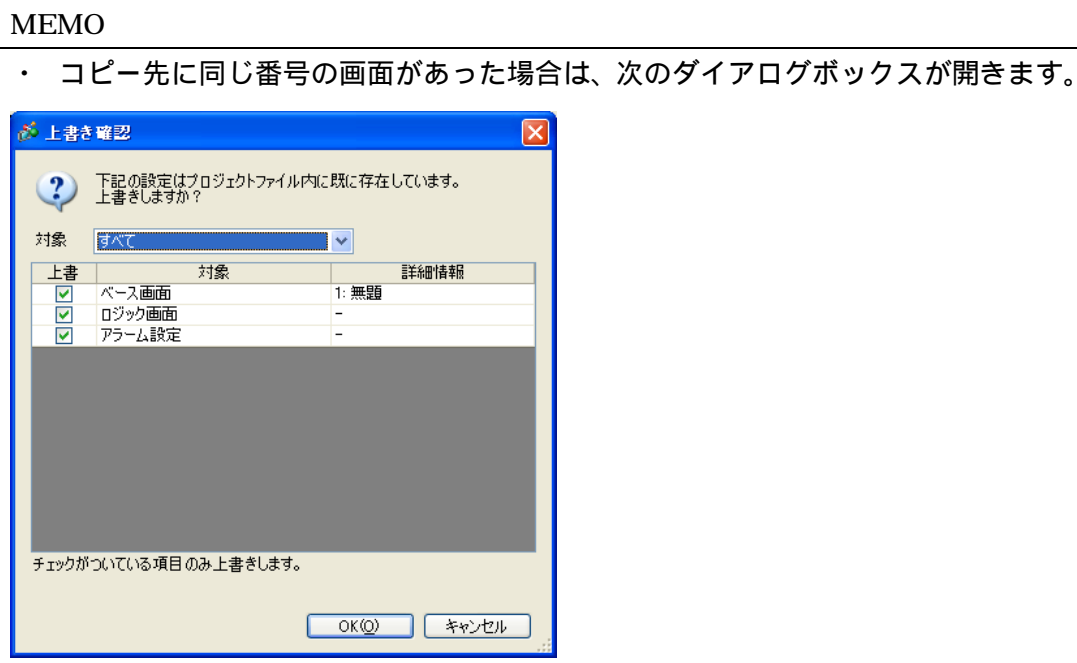
5. 項目欄でコピーしたい内容を選択します。ここでは「画面」を選択します。



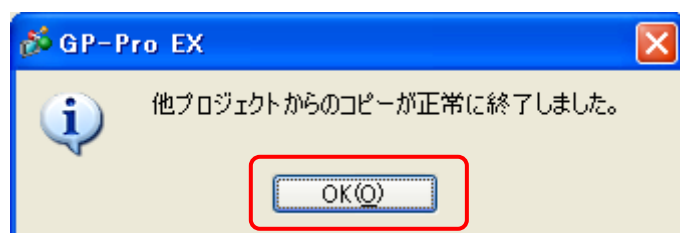
6. 「ベース画面」、「設定されているヘッダー/フッターもコピーする」、「ウィンドウ画面」にチェックが付いていることを確認し、それぞれの対象画面番号にコピー元の画面番号、コピー先先頭画面番号にコピーした後の画面先頭番号を入力します。



7. 「コピー」をクリックします。



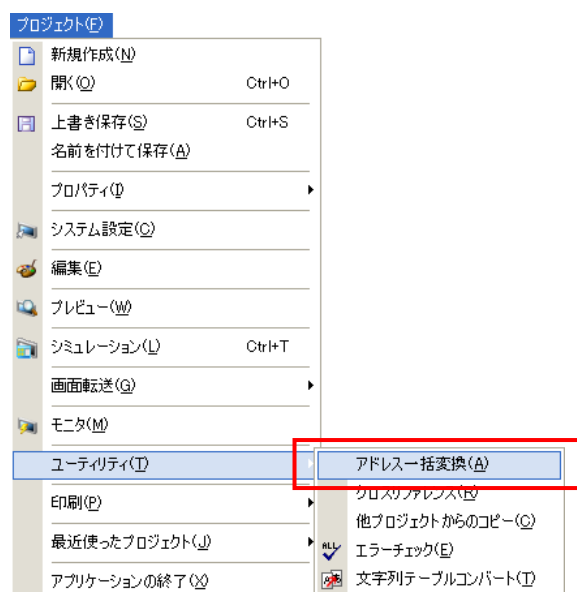
8. コピーが完了すると次のメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



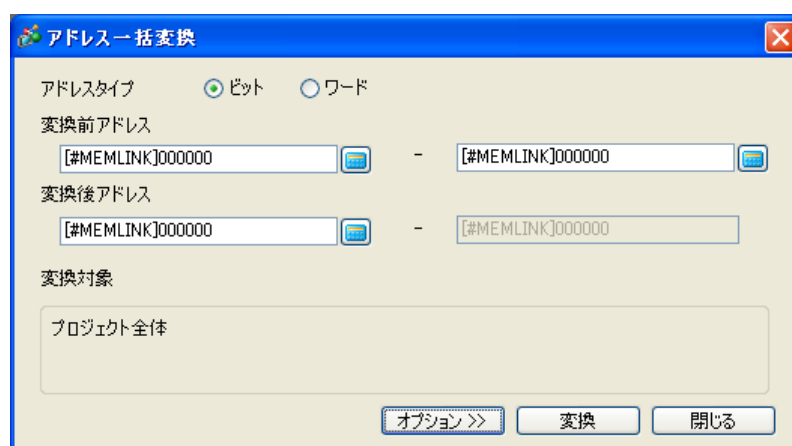
6. アドレスの一括変換方法

本サンプルを取り込む際にお客様のプロジェクトファイル（画面ファイル）で使用している部品とアドレスが重複する場合、以下の手順を用いて別のアドレスへ一括で変更することができます。

1. [プロジェクト (F)] メニューから [ユーティリティ (T)] - [アドレス一括変換 (A)] を選択します。




2. [アドレス一括変換] ダイアログボックスが表示されます。



3. [アドレスタイプ] を [ビット]、[ワード] から選択します。(例：ビット)

アドレスタイプ ☒ ビット ☐ ワード



4. [変換前アドレス] の先頭アドレス (例：M10) と終了アドレス (例：M17) を設定します。

変換前アドレス
[PLC1]M000010  - [PLC1]M000017 

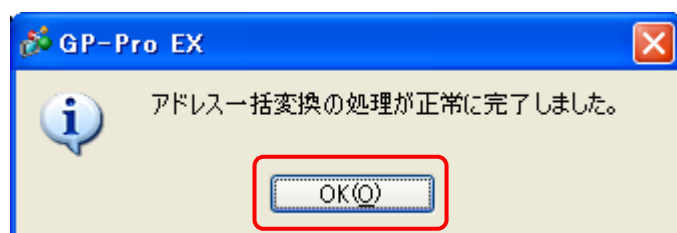
MEMO

- ・ [変換前アドレス] の先頭と終了に異なるデバイスアドレスは設定できません。

5. [変換後アドレス] の先頭アドレス (例：M200) を設定します。

変換後アドレス
[PLC1]M000200  - [PLC1]M000207 

6. [変換] をクリックします。処理完了メッセージが表示されるので [OK] をクリックします。



MEMO

- ・ アドレスに [シンボル変数] を使用している場合は、[アドレス一括変換] は正しく動作しません。
- ・ アドレス変換前の総アドレス数 (終了アドレス - 先頭アドレス) が、アドレス変換後の総アドレス数 (終了アドレス - 先頭アドレス) より大きくなる場合、あふれたアドレスにはすべてそのデバイスの最終アドレスが割り付けられます。

7. 使用上の注意点

ご使用になられる機種が異なる場合（画面サイズが大きくなる場合）画面配置が異なりますので画面の編集が必要です。動作可能な機種は GP3000 シリーズになります。設定可能な作画ソフトは GP-PRO EX V2.22 以降になります。